

【研究概要】

入院加療を通して、①自己肯定感・自己効力感の向上、②規則正しい生活習慣、③主体的な病気の管理、④同様の疾患をもつ他患者との交流、を育むことで、起立性調節障害の患者の心理社会的因子が改善するか否かを明らかにする。評価にはアンケート形式の心理検査を使用する。